

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：地球と資源エネルギー ILAS Seminar :Earth and Energy Resources	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Energy Science Professor,FUJIMOTO HITOSHI Graduate School of Energy Science Associate Professor,KUSUDA HIROMU		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Number of weekly time blocks	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester	Quota (Freshman)	6 (6)
Target year	1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Thu.5
Classroom	Research Bldg No. 10 426 (Main Campus)			Language of instruction	Japanese
Keyword	資源 / エネルギー / 地球				
[Overview and purpose of the course]					
地質年代をかけて生成した資源（化石資源）と、現在生成中の資源（バイオマス資源）とを比較しながら「地球」と「資源」について解説し、さらに資源の開発から消費までのプロセスを学ぶ。					
[Course objectives]					
人類が消費している「資源」と「エネルギー」についての基礎知識を習得する。					
[Course schedule and contents]					
授業スケジュールは、概要説明(1回)、下記のテーマについての学習(各1~2回、全13回)、課題発表会(1回)、フィードバック(1回)である。受講学生の要望に応じて、テーマを追加変更することがある。また、各テーマの解説では適宜ビデオ教材等も使用する。非金属資源のテーマは楠田が、金属資源およびエネルギーのテーマは藤本が担当する。フィードバック方法は別途連絡する。					
概要説明 石油（石油の生い立ち） 石油（限界説と地球温暖化） シェールガス・シェールオイル（米国の資源戦略） メタンハイドレート（国産天然ガス資源） 海洋鉱物資源（国産金属鉱物資源） 鉄資源（光合成と縞状鉄鉱層） 二酸化炭素の回収と処分、利用（CCUS） バイオエタノール・バイオディーゼル（ガソリン・軽油代替資源） メタン発酵（再生可能メタン資源） 藻類バイオ燃料（国産石油資源への挑戦） 地域振興とバイオマス（佐賀市、奥州市） 震災復興とバイオマス（阪神淡路大震災、東日本大震災） 炭素循環と資源エネルギー 発表会					
Continue to ILASセミナー：地球と資源エネルギー(2)					

ILASセミナー :地球と資源エネルギー(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点（授業への参加状況、ディスカッションへの参加度）40%、受講者による発表会（プレゼンテーション）60%により評価する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

各トピックについての復習を推奨する。

[Other information (office hours, etc.)]

オフィスアワーは特に設けない。随時、各教員室を訪ねること。また、メールによる質問も受け付ける。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。